

ワールドカフェを使った情報共有と アイデア創出

発表: 千葉県立東葛飾高校教諭
福島 毅
tohkatsu_joho@yahoo.co.jp

全国高等学校情報教育研究大会
於)2009/8/24 筑波学院大学
G会場 15:30~16:10

本セッションは
「ワールドカフェ」と呼ばれる、
チームでの問題解決型学習手法
を紹介した講演 & ワークです。

【キーワード】

ワールドカフェ ダイアログ(対話)

共有知 集合知 協働 創出・創発

ファシリテーション 傾聴

内容概略

■前半(プレゼン) 5分

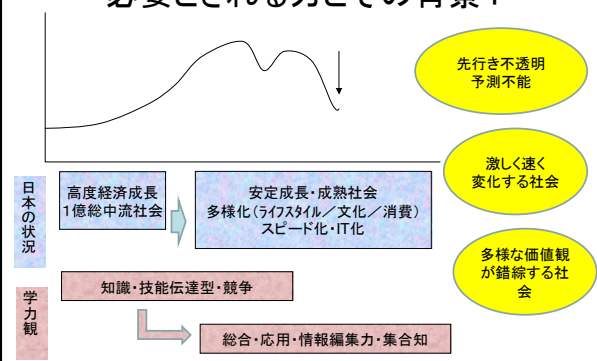
- ・「教育に対話(的手法)を！」
- ・「集合知、協働を促すワールドカフェ」
- ・ワールドカフェとは何? 簡単な紹介

■後半(ワークショップ) 30分

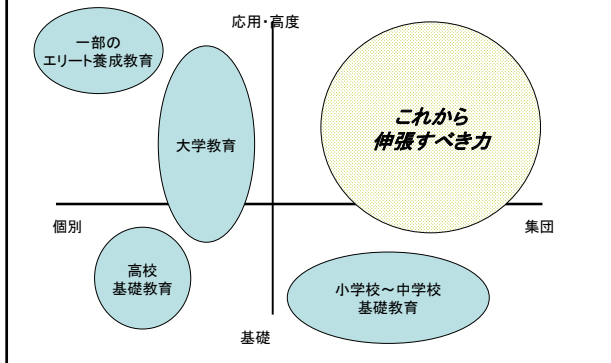
- ・体験しよう! ワールドカフェ

■質疑応答 5分

これからの社会を生き抜く人々に 必要とされる力とその背景1



これからの社会を生き抜く人々に 必要とされる力とその背景2



カリスマ的な個人(政治家・会社経営者)の
強力リーダーシップでは、リスクが大。
個人の蓄積された知識・経験だけでは対応不可能!

ダウンロード型
(知識伝達型)



協働
知識創造型

闘うコミュニケーション
(ディベート型)



対話あるコミュニ
ケーション
(ダイアログ型)

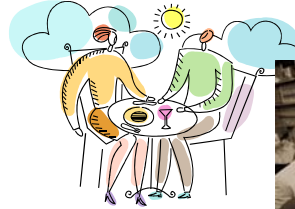
多様な利害関係を持つ人々が寄り集まる中で、
互いを尊重しつつ、信頼関係をみつけ、
共通の目的に向けて協働を促進する。

百聞は一見にしかず
百見は一試にしかず

対話型コミュニケーション
がもたらす
集合知・アイデア創出を
体験してみましょう！！

2分でわかるワールドカフェ

こんな環境でやります



2分でわかるワールドカフェ

行うことは対話です。



- ・単なるおしゃべりではありません。
- ・他人の意見は傾聴します。
- ・アイデアの共有を意識してください。
- ・何に自分は、チームは貢献できるのかという視点を持ちましょう。
- ・対立点を浮き彫りにするよりは、視点や視座の確認をする質問をしてください。

2分でわかるワールドカフェ

アイデアの他家受粉
をしていきます。



- ・メンバーは一人を残して(テーブルホスト)、他の3人は移動していきます。(旅人)
- ・テーブルホストは、新しい3人に今まで出たアイデアの紹介を。
- ・旅人は他のテーブルに新しい考えを吹き込んでいきましょう。
- ・テーブル上には落書きをしてもかまいません。

2分でわかるワールドカフェ

対話の輪をワールドに広げましょう。



- ・小さなテーブルでのアイデアは、やがて大きな全体空間へと波及していきます。
- ・沈黙から集合知が浮かぶことがあります。あせらずにじっと待ちましょう。
- ・アイデアをネットなどで共有したりすれば、世界に広がります。

Workshop ワールドカフェ

カフェのエチケット

- ・他人の意見は傾聴します(今回トーキングオブジェクトを使用)
- ・アイデアをつなげます
- ・テーブルへのいたずら書きを推奨します
- ・会話で生じる洞察や深い質問に耳を傾けます

カフェの地図

- ・1R(8min) 問い “生徒に学ばせてみたいチャレンジングな内容とはどのようなものでしょう？ (教科を問わず) あなたは教師としてどう貢献しますか？”
- ・2R(8min) メンバーが変わってもう一度
- ・3R(8min) 問い “教科「情報」での学びが生徒に活かされた時、生徒はどのように変わるのでしょうか？ 生徒にとって、どのような成長があるのでしょうか？”



生物体のネットワーク



多岐点質問



多様な視点



地球規模



循環

まとめ

- ◆ワールドカフェは、グループの集合知を導き出すツールです。
- ◆問題発見・解決のグループ学習に使えます。
- ◆ホスト役にとって大切なのは、以下の事項です。
 - ・参加者を歓迎する気持ちが大切
 - ・カフェの場から生み出されている何かを察知すること
 - ・それを生かした質問を投げかけること

課題

- ◆情報の授業での実践
- ◆ワールドカフェ以外のファシリテーションの教育への応用

謝辞・参考

- ◆ワールドカフェを紹介して下さった 近藤直樹氏
- ◆当プレゼンで使用したイラスト・写真 =「ワールドカフェ」
ヒューマンバリュー社
- ◆レジュメで使用したイラスト・写真=ヒューマンバリュー社 webサイト